

地域ネットワークニュース

11月、12月の勉強会は発達障害に関する講座となっています。2講座同時に参加の申込みを受付しますので、是非ご参加下さい。（いずれか1回のみ参加も可能です。）

申込・問い合わせ先：神栖市社協 地域福祉推進センター 担当：三浦 電話 0299-93-0294

第202回 地域ネットワーク勉強会

『子どもの発達段階と発達障害』

講師：茨城県発達障害者支援センター
大野真裕氏〈センター長／臨床心理士〉

11月20日(木)

午後7時～午後9時

神栖市保健・福祉会館内

参加費無料

保育園や幼稚園などの集団の場面で、先生がみんなに一齐に指示を出したときに従えない、年齢相応のコミュニケーションが成立しない、一人だけ飛び出してしまう、みんなと別のことをしている、あるいは固まってしまう、順番が待てないなど、ちょっと「気になる子」に対してどのように関わったらよいのか、今の関わりが合っているのかと迷ったり、悩んだりしていませんか？ こういった行動は先生や家族を困らせようとしているのではなく、実際には子どもが「困っている」サインを周囲の大人に発信している特徴的な行動の一つと考えられ、そこに支援の糸口があります。

第202回の勉強会では、発達障害のある子やその疑いのある子は具体的にどのような場面で生活上の困難さを抱えているのか、どのような支援が望まれているのか、子どもの発達段階と発達の特徴を照らし合わせながら考えていきます。

第203回 地域ネットワーク勉強会

子どもの遊びと発達～感覚統合の視点から～

講師：茨城西南医療センター病院
リハビリテーション部 作業療法士 根本浩則 氏

12月4日(木)

午後7時～午後9時

神栖市保健・福祉会館内

参加費無料

作業療法は、文字通り作業を用いた療法です。そして、子どもにとっての最も大切な作業は「遊び」になります。子どもの発達において、運動もことばも遊びを通して成熟していきます。しかし、発達の偏りを抱えているお子さんは、それがうまくいきません。したがって、遊びがうまくいかないことによつて、発達がうまくいっていない状態と考えることもできます。

私たちは、周りを見渡せば様々なものが目に入り、耳を澄ませば様々な音が聴こえてきます。このほかにも、足が地面に接している感触や、衣服が肌に接している感触など、様々な感覚をからだに取り込みながら生きています。そして、環境から取り込んだ感覚情報を脳の中で整理することによつて、状況に適した運動や行動を可能にしています。こうした一連の過程は、感覚統合と呼ばれています。感覚統合に不具合があると、行動、学習、コミュニケーションなど様々な生活上の問題につながっていきます。

第203回の勉強会では、子どもの発達と感覚統合に関する基本的なお話しをするとともに、実際の作業療法場面を通して、お子さんへの関わり方を紹介して頂きます。



「第7期発達障害療育者研修会（5回連続講座）」との合同開催となっています。

（今期の療育者研修会は幼稚園・保育園の先生方に限定して募集しています。ご了承下さい。）